

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公開番号】特開2007-96584(P2007-96584A)

【公開日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-014

【出願番号】特願2005-281390(P2005-281390)

【国際特許分類】

H 0 4 M 3/00 (2006.01)

H 0 4 Q 7/36 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 3/00 D

H 0 4 B 7/26 1 0 5 D

H 0 4 Q 7/04 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月12日(2008.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

親局と、複数の子局および上記親局と上記複数の子局とを通信回線で結合された通信システムにおいて、

上記親局は、交換装置と、ホットライン制御装置およびホットライン設定電話機を有し

、
上記複数の子局の各々は、交換装置を有し、

上記親局のホットライン制御装置は、上記親局または子局からのホットライン発呼信号を検出すると、上記複数の子局の内の所定の子局の上記交換装置に該子局の個別通信を禁止する信号を送信することを特徴とする通信システム。

【請求項 2】

請求項 1 記載の通信システムにおいて、

更に、上記親局のホットライン制御装置は、上記親局または子局からのホットライン発呼信号を検出すると、上記親局の所定の上記個別電話機の個別通信を禁止することを特徴とする通信システム。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の通信システムにおいて、

上記親局と上記複数の子局とを結合する通信回線は、音声チャネルとデータチャネルからなり、上記ホットライン発呼信号の検出により上記所定の子局に送信される上記個別通信を禁止する信号は、上記データチャネルで伝送されることを特徴とする通信システム。

【請求項 4】

親局と複数の子局および上記親局と上記複数の子局とを通信回線で結合された通信システムのホットライン制御装置であって、

上記ホットライン制御装置は、上記親局または子局からのホットライン発呼信号を検出すると、上記複数の子局の内の所定の子局の上記交換装置に該子局の個別通信を禁止する信号を送信することを特徴とするホットライン制御装置。